

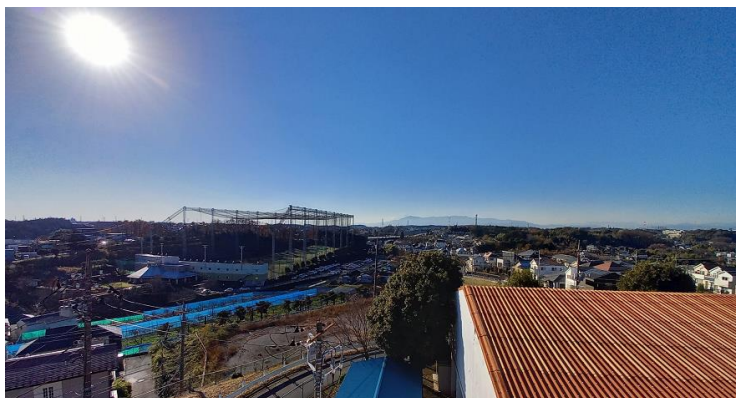
いまみ 緑のたより



ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/imajukuminami>

自分らしく

校長 江野澤 勝



新年あけましておめでとうございます。
一昨年から引き続き、昨年も新型コロナウイルス
感染症拡大防止への対応のために、様々な場
面でご理解とご協力を賜りました。厚くお礼申
上げます。今年も新たな気持ちで教職員一同、
充実した教育活動に向けて努力してまいりま
す。保護者の皆様、地域の皆様には昨年同様ご
理解とご協力を賜りますようお願い申し上げ
ます。

先月、今宿中学校でブロック人権教育推進会議が行われました。その際に、LGBTに関する講演を聞くことができました。2人の方が講師として、全校生徒に話をしました。自身の経験やマイノリティ、ジェンダーに関しての話を聞いていく中で、生きづらさを感じる場面があることや、今の社会に対する思い、こんな世の中にしていきたいという熱い思いを感じました。

そして、全校生徒に向けて「自分らしさを大切に」と、温かく、明るく語ってくれていました。講師の方々が自己紹介をしてくれる中で、自分はどんな人間なのだろうか？と問いかけてくれる場面がありました。カレーが好き、おしゃれが好き、かわいい服、かっこいい服、スポーツ、映画、等々、人にはそれぞれ容姿も含め様々な趣味・嗜好、特徴があり、誰一人同じ人はいません。みんな違います。「みんなちがってみんないい」「みんなちがって当たり前」。自分をよくみつめること、自分を大切にすることが自分の周りの人を大切にすることにつながると、若い二人の講師から教えていただきました。自分が人と違うことを気にしたり、周りとは違うことをおかしいと感じ、批判したり、蔑視するような空気が今の学校だけでなく社会の中にも多くあるということ。

皆が安心して暮らせる社会にしていけるためには、わたしたちが違いや個性を認め互いに理解しようとし、寛容になるようにすることが大切だということを私たち大人も常に心に留めていないといけないと感じました。

私が子どもの頃と比べ、社会の様子は大きく変わってきました。映画やマンガの中にしかなかったものが現実に行ったり、想像もできなかった仕事が生れたりしています。子ども達が大人になる頃にはさらに大きく世の中も変わっていくことでしょう。しかし、昔も今も大切にしていかなければいけないことはきっと変わらないと思います。これから青年になり、大人になっていく彼らが、温かく広い心で、自分も、周りの人も大切にしながら、誰もが「自分らしく笑顔」で過ごしていけるよう願っています。

委員会活動 その①

5・6年生の委員会活動の様子をご紹介します。

計画運営委員会

私たち計画運営委員会では、全校スローガン「スマイル」を掲げ、今宿南小学校が笑顔でいっぱいになるように活動を行っています。

今年度力を入れたのは、あいさつ運動です。分散登校で友達や他学年に会える機会が少なくなってしまったので、みんなが元気よくあいさつができるように、朝早くから学校の門に立ち、あいさつ運動を行いました。あいさつが増えるように、数を数えお昼の放送で発表したり、あいさつビンゴカードを作ったりとみんなが楽しくあいさつできる取組を考えて活動しました。

また、今宿小や今宿中の児童会、生徒会の人たちとも交流して、みんなが安心して過ごせる学校になるように頑張っています。

計画運営委員会委員長 杉山 一花

保健委員会

私たち保健委員は、全校のみなさんが安全・安心に学校生活を送れるように活動しています。

毎日手を洗うのに必要な流しのせっけんは、保健委員会が補充をしています。また、みなさんが普段使っている水道の水が安全かどうか、水質検査も毎日行っています。ほかにも、掃除に使うほうきの点検や交換、ポスターなどを作って、健康について呼びかけをしています。

最近は、学校保健委員会のことについて話し合いをしたりしています。通常通りの開催ができるかわかりませんが、これからも今宿南小学校のみなさんが健康に過ごせるような活動をしていくので、ご協力よろしくお願いします。

保健委員会委員長 高橋 日葵

図書委員会

私たち図書委員は、「全校のみなさんが、もっと本が好きになってほしい」という気持ちで、活動しています。

毎年恒例の「読書ビンゴ」では、今年も多くの児童が参加をしてくれました。密にならないように、開催日を学年ごとに分けたり、抽選方法を変更したりしました。みんなが楽しみにしている「しおり」も心を込めて作りました。

読書ビンゴの他にも、年間を通して、楽しめる活動を計画しています。楽しみにしてください。

これからもイマミのみなさんがもっと本に興味をもち、たくさんの本を読み、本が大好きになってもらえるように、図書委員みんなで頑張っていきます。

図書委員会委員長 小室 結

運動委員会

運動委員会では、全校のみんなが安全に運動し、体を動かすことを楽しめるようにと考えて活動しています。

各クラスで目標を立てて取り組む「キラキラタイム」では、長縄集会の運営を行いました。キラキラタイムが終わってからは各クラスに委員会で作った記録カードを配ります。

ほかにも、体育倉庫の整理や掃除も行っています。ボールの空気を入れたり、体育に使う用具が安全に使えるかどうか確かめたりして、体育倉庫が使いやすく、全校のみんなが安全に運動できるようにしています。

運動委員会委員長 岩谷 玄之助

5年生 スケート体験・心のふれあいコンサート



12月7日に横浜銀行アイスアリーナでスケート体験をし、その後、神奈川県民ホールで、神奈川フィルハーモニー交響楽団の演奏を聴きました。スケートが初めての児童も、指導して下さる方達のアドバイスを受けながら見る見るうちに上達していました。午後は、「運命」や「威風堂々」などをオーケストラの演奏で楽しみました。最後はオーケストラに児童みんなの手拍子も加わり、会場が一体となって盛り上がりました。有意義な一日になりました。



人権週間の取り組みの振り返りから

《低学年》盲導犬とともに来校していただいた社会福祉協議会の方の話を聞きました。

目が見えないと聞いたときは、悲しい顔をしているのかなと思っていましたが、会ってみると、まぎゃくで、やさしくて元気いっぱいでした。これから、いかりやさんの言ったとおり、自てん車を点字ブロックにはおかないようにするときめました。

《中学年》「勇気のお守り」というDVDを視聴して自分のことも、他の人のことも大事にすることを学びました。

私はこの「勇気のお守り」を見て、自分がされていやなことは、してはだめということが分かりました。自分のことを大切に思い、相手を思いやって行動したり、困っている人を助けたりしたいです。そして、自分の気持ちを素直に伝えること、相談したりする勇気をもつことが大事だと思います。

《高学年》「国境なき医師団」という団体の方の話を聞きました。

私は、杉藤先生の話聞いて、困っている人を助けることは、めぐりめぐって、自分のためになるんだと思いました。そして、人のことを大切に、相手のことを受け入れて接することが大事だなと感じました。DVDで見た組織のような大きな活躍はできないけれど、電車やバスで席をゆずることや、人に優しく接することなど、できることから取り組んでいくことが大切だということに気づきました。

世界では、自然災害や戦争で多くの方が苦しんでいることは知っていたけれど、そこで、国境なき医師団の方々が「命をかけて、命を守っている」ことを初めて知りました。勇気と素晴らしさに感動しました。この人達が世界中で活躍していると思うと、とてもすごいことだと思いました。今回学んだ、「人権」の意味と「人を大切に助ける」ということを忘れずに生活していきたいです。